

製品安全データシート

1 製品及び会社情報

製品名 : くみあい新マンガンほう素有機入りユートップ複合668S  
 (タイサクマンガンほう素UTopp668)  
 肥料登録番号 : \_\_\_\_\_  
 会社名 : 全国農業協同組合連合会  
 担当部署 : 肥料農薬部  
 住所 : 〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JALビル3F  
 電話番号 : 03-6271-8285  
 Fax番号 : 03-5218-2536  
 E-mail : zz\_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp  
 緊急連絡先 : 03-6271-8285  
 推奨用途及び使用上の制限 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないでください。

2 危険有害性の要約

GHS分類  
 物理化学的危険性

爆発物 : 分類できない  
 可燃性又は引火性ガス(化学的に不安定なガスを含む) : 分類対象外  
 エアゾール : 分類対象外  
 支燃性又は酸化性ガス : 分類対象外  
 高压ガス : 分類対象外  
 引火性液体 : 分類対象外  
 可燃性固体 : 分類できない  
 自己反応性化学品 : 分類できない  
 自然発火性液体 : 分類対象外  
 自然発火性固体 : 分類できない  
 自己発熱性化学品 : 分類できない  
 水反応可燃性化学品 : 分類できない  
 酸化性液体 : 分類対象外  
 酸化性固体 : 分類できない  
 有機過酸化物 : 分類できない  
 金属腐食性物質 : 分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 分類できない  
 急性毒性(経皮) : 分類できない  
 急性毒性(吸入:気体) : 分類対象外  
 急性毒性(吸入:蒸気) : 分類できない  
 急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) : 分類できない  
 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 区分2  
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分2A  
 呼吸器感受性 : 分類できない  
 皮膚感受性 : 分類できない  
 生殖細胞変異原性 : 分類できない  
 発がん性 : 分類できない  
 生殖毒性 : 分類できない  
 生殖毒性・授乳影響 : 分類できない  
 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない  
 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない  
 吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性) : 分類できない  
 水生環境有害性(長期間) : 分類できない  
 オゾン層への有害性 : 分類できない

GHSラベル要素  
 絵表示及びシンボル



注意喚起語 : 警告  
 危険有害性情報  
 飲み込むと有害の恐れ  
 注意書き  
 対応: 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

最重要危険有害性  
急性毒性は弱い、加熱分解等により有害なアンモニア等が発生するので注意が必要

### 3 組成及び成分情報

化学物質、混合物の区別 : 混合物  
 化学名又は一般名 : 指定配合肥料  
 製品中の成分及び含有量

成分名称	保証成分量
窒素全量	16.0%
アンモニア性窒素	5.6%
りん酸全量	6.0%
可溶性りん酸	5.3%
水溶性りん酸	3.5%
加里全量	8.0%
水溶性加里	8.0%
く溶性マンガ	0.3%
く溶性ほう素	0.2%

危険有害成分

化学名または一般名	官報公示整理番号		化学式	CAS番号	濃度(%)
	化審法	安衛法			
マンガ及び無機マンガ化合物	-	別表第9 550	-	非公開	0.3
シリカ	(1)-548	別表第9 312	SiO <sub>2</sub>	7631-86-9	0.4

### 4 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。  
 皮膚に付着した場合 : 皮膚を多量の水と石鹸で洗い流す。水泡、痛みなどの症状が出た場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。  
 目に入った場合 : 速やかに瞼を開け清水で少なくとも15分以上洗い流し、眼科医の診断を受ける。  
 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄する。直ちに医師の処置を受ける。

### 5 火災時の措置

消火剤 : 水・粉末消火器・乾燥砂等を用いること。  
 特定の方法 : 本製品自体は不燃性である。  
 火災に曝されたときは、大量の水で消火する。  
 加熱分解したガスは、有害なアンモニア、亜硫酸ガス等を含むので消火活動は風上で行う。  
 消火を行う者の保護 : 延焼又は高温により有害なアンモニア、亜硫酸ガス等が生成するので消火活動は風上から行う。また保護メガネ、保護手袋、呼吸用保護具等も着用すること。

### 6 漏出時の措置

人に対する注意事項 : 必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋等を着用すること。  
 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境へ影響を起ささないよう注意する。  
 除去方法 : 防水シート等で覆いをして飛散拡大の防止を図る。固体の場合は掃き集めてドラム缶等の容器に回収する。  
 粉塵を立てないように注意して作業する。  
 二次災害の防止策 : 特になし

### 7 取扱及び保管上の注意

取扱い  
 技術的対策 : 粉塵を吸入しないように防塵マスク等の適切な保護具を着用する。  
 注意事項 : 取扱いは換気のよい場所で行う。  
 袋の破損を防止するため、放り投げ、落下、転落等乱暴な取扱いをしないようにする。  
 保管  
 適切な保管 : 吸湿性があるので長期間外気に曝さない。  
 できるだけ湿度の低い乾燥した倉庫等に保管する。  
 安全な容器包装材料 : 情報なし

### 8 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 屋内での取扱の際は局所排気装置を設置する。  
 取扱場所の近くに手洗い洗眼設備を設け、その位置を明確に表示する。  
 管理濃度 : データなし  
 許容濃度 : 産業衛生学会(2011年度)  
 第3種粉塵  
 その他の無機及び有機粉塵 2mg/m<sup>3</sup>(吸入性粉塵)  
 8mg/m<sup>3</sup>(総粉塵)

#### 保護具

呼吸用保護具 : 防塵マスク  
 手の保護具 : ゴム製手袋等の保護手袋  
 目の保護具 : ゴーグル型眼鏡等の保護眼鏡  
 皮膚及び身体の保護具 : ゴム長靴等  
 適切な衛生対策 : 取扱者に本品の化学的性質、物理的性質、有害性、危険性の教育を行い、「7. 取扱い及び保管上の注意」の項を遵守させる。

## 9 物理的及び化学的性質

物理的状態	
形状	: 粒状
色	: 灰色がかった褐色と白色の混合
臭い	: 独特な臭い
融点	: データなし
引火点	: データなし
爆発特性	: データなし
密度(かさ比重)	: 800~1000 kg/m <sup>3</sup>
溶解性	: 水に易溶な部分と不溶な部分が混在する。

## 10 安定性及び反応性

安定性	: データなし
反応性	: 強アルカリと反応してアンモニアガスを発生する。
危険有害な分解生成物	: アンモニアガス、亜硫酸ガス

## 11 有害性情報

急性毒性	: データなし
皮膚腐食性/刺激性	: 長時間接触し発汗を伴うと発疹することがある。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 眼を刺激し粘膜を侵すことがある。
呼吸器感作性/皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異性原性	: データなし
発がん性	: データなし

## 12 環境影響情報

データなし

## 13 廃棄上の注意

肥料としてそのまま或いは大量の水で希釈して農作物に有効適量を撒く。  
水酸化ナトリウム等反応しやすい物質の近くや高温となる場所に廃棄してはならない。  
廃棄物及び清掃に関する法律、水質汚濁防止法等の関連法規に適合した処置を施してから廃棄する。  
又は処理能力のある公認された産業廃棄物処理業者に処理を依頼する。

## 14 輸送上の注意

国内規制  
溶液の場合は、海洋汚染防止法の規制に注意する。  
輸送の特定の安全対策及び条件  
「7. 取扱い及び保管上の注意」の項の記載を守り、乾燥した容器、袋に積めて輸送する。  
直射日光を避け雨にかからないように防水シートを掛ける。  
袋が裂けるような手荒な取扱いはしない。  
強アルカリとの混載は避ける。

## 15 適用法令

肥料取締法	: 指定配合肥料
水質汚濁防止法	: 有害物質(施行令第2条) アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 ほう素及びその化合物 生活環境項目(施行令第3条) 溶解性マンガン含有量 窒素又は燐の含有量 指定物質(施行令第3条の3) クロム及びその化合物(6価クロム化合物を除く)
海洋汚染防止法	: 有害液体物質(2種物質)(施行令別表第一)
化学物質管理促進法	: 第一種指定化学物質 405号 ほう素化合物 412号 マンガン及びその化合物 PRTR制度に基づく排出・移動量の届出が必要となります。
労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき危険物及び有害物(第57条) シリカ 名称等を通知すべき危険物及び有害物(第57条の2) シリカ マンガン及び無機マンガン化合物 粉じん障害予防規則
毒物及び劇物取締法	: 該当しない
消防法	: 該当しない

## 16 その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成していますが、記載データや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱いをお願いします。

本SDSは、下記エムシー・ファーティコム株式会社の情報を元に作成しました。該当物質については、下記にお問い合わせください。

会		社	名	:	エムシー・ファーティコム株式会社	
住			所	:	〒102-0083 東京都千代田区麴町一丁目10番地	
担		部	署	:	製造本部	
電	当	番	号	:	03-3263-8536	
F	話		号	:	03-3263-8540	
緊	A	X	番	先	:	エムシー・ファーティコム株式会社 神島工場
	急	連	絡		:	品質・ISOユニット
電	話	番	号	:	0865-67-2211	